## 森の手入れ活動

5、6、7 月とも雨天のため中止。

## 清掃ハイキング

5 月 21 日（晴れ）

先週の曇天を吹き飛ばすような青空。初夏を思わせる。集まった 13 人は清掃ハイキング班、モニ 1000 班、オオキンケイギク班・大若竹班の四つに分かれて出発する。私はまず階段上の地滑り地点の計測に向かう。2018 年の台風と大雨で大きな地滑りが起こり、階段上の広場が陥没し長い間通行禁止になっていたが、ようやく通行可能になった条件の一つに、毎月の計測で地滑りが進まないか点検することがあった。二重になった柵と柵の間が前月より広がっていないか、土に打ち付けた赤いマークの間をメジャーで測定する。二人がかりで 4 地点を測り記録し、今月も広がっていないことを確かめる。

**花盛りのオオキンケイギク。この後すべて抜き取りました**

そして本日のメイン作業、花盛りのオオキンケイギク除去へ。北アメリカ原産のこのお花、キバナコスモスに似た愛らしさで全国に広がり、その繁殖力の強さからアライグマ、ミシシッピアカミミガメ同様に特定外来生物に指定されている。3 人がかりで三叉路前のオオキンケイギクを抜いていく。できるかなぁ、時間内に。花をつけている株だけでなく葉だけの株も抜く必要があるので心配したが、ごみ袋に 2 つ、なんとか抜き終えた。新御堂筋側の草原でも同じように抜いてもらい更に 1 袋。毎年続けることでこれ以上の広がりを防ぎたい。

この日、モニ 1000 班からは 50 種以上のお花を記録したとの報告があり、清掃班からは相変わらずの空き缶金麦と放置された伐採木の報告がされた。キビタキとウグイスのさえずりを BGM に新緑の島熊山での作業、皆様、お疲れさまでした。（易 信子）

**集めたゴミ**：缶 12 本瓶 1 本ペットボトル 1 本、オオキンケイギク 3 袋、可燃ごみ 1 袋、不燃ごみ 1 袋

6 月 18 日（晴れ）

清掃班とモニ 1000 調査班に分かれての活動。前回行ってない方面のモニ 1000 調査班に参加しました。緑地の入り口から、斜面をすべらないように足元に気をつけながら進んでいきました。前方では続々植物の名前と状態を記録し進んでいきます。大多数は知らないものでしたが、ときには聞きなじみのある名があり、嬉しくなりました。

この緑地に思ってもみなかった程いろいろな種類の植物があったので、おどろきました。少しずつ覚えていきたいです。（相良 晶子）

**オカトラノオ**

**集めたゴミ**：缶 5、瓶 1、ペットボトル 2、傘、シートカバー、可燃ごみ 1 袋、不燃ごみ 1 袋

7 月 16 日（晴れ）

ひょっとすると梅雨明けかも？と言えそうな澄み切った青空の午後、17 名もの参加があった。

特養の上の地割れの区域には過剰に葛が生い茂り、覆いかぶさったような有り様となっています。その為、いつもの 2 班に葛刈り取り班も加えての作業となりました。34 度を上回る暑さでしたが、幸いにもいつもより湿度が低い様に感じました。

西町側は意外にもゴミが少なく、尾根道の笹も大したことなく気持ちよく歩けました。ところが新御堂側にはススキの野に大きなゴミ袋が置かれていました。家庭ゴミと思われますが、70 本余りのペットボトルを捨てるとは、その無責任さに怒りを感じます。

**新御堂筋側の草地に捨てられていたペットボトルの大袋**

今年の活動も今月で半分終了となります。ここは住宅地に残された貴重な緑地です。酷暑の夏、ふらっとここに入って樹木や草花に触れてくれる人があればと期待しています。（西川 泰子）

**集めたゴミ**：缶 3、瓶 2、ペットボトルが大量に入った袋、可燃ごみ 1 袋

## 配水場トンボ池調査 （土田 泰子）

4 月 26 日（曇り）参加者 3 名　気温 16℃、水温 18℃

午前中激しく降った雨が上がって何とか観察できたが、参加者が少なく、草刈りは出来なかった。

トンボの姿もなくやや寂しかったが、大量のオタマジャクシが見つかって春のいぶきを感じた。

**ヤンマのヤゴ**

**見られた昆虫**：アメンボ多数、ベニシジミ、ヤンマ系ヤゴ　1、トンボ科系ヤゴ 2、イトトンボヤゴ 2、コツブゲンゴロウ 3

**植物**：スイバ果実、セイヨウミヤコグサ、ニガナ、ノイバラ、ヘラオオバコ、オッタチカタバミ

**野鳥**：ツバメ、スズメ

5 月 24 日（晴れ）参加者 12 名　気温 24℃、水温 28℃

池周辺の草は少ない。中央部にガマが茂っていた。ガマ刈りをする。配水場の梅の実がちょうど採りごろで、多数の参加があった。

**見られたトンボ**：クロスジギンヤンマ 2（写真）、ショウジョウトンボ♂2♀1、シオカラトンボ♂2♀1、アオモンイトトンボ♂多数♀1、オオシオカラトンボ未成熟♂1、ヤンマ系ヤゴの抜け殻 9、ヤンマ系ヤゴ 3、シオカラ系ヤゴ 1、イトトンボヤゴ 1

**その他昆虫**：モンキチョウ、ホシミスジ、マツモムシ多数アシナガバチ、スズメバチ

**植物**：ミヤコグサ、ヒメジョオン、イグサ、チガヤなど。

**クロスジギンヤンマ**

**ショウジョウトンボの産卵**

6 月 28 日（晴れ）参加者 11 名　気温 30℃、水温 28℃

前日までの予報では雨との事だったが、良いお天気になり、トンボの出も多く、参加者も多く楽しい観察となった。ヒマガマがもう池中央の深い部分全体に広がって、穂が出ていた。ヒメガマを 7 割がた刈った。

**オオシオカラトンボの交尾**

**見られたトンボ**：オオシオカラトンボ♂♀、シオカラトンボ♂2、ショウジョウトンボ多、ギンヤンマ 1、アオモンイトトンボ多、キイトトンボ多、トンボ科系ヤゴ 1、ヤンマ系ヤゴの抜け殻多数

**その他昆虫**：マツモムシ多数、アメンボ多数、ツマグロヒョウモン、シジミチョウの仲間、ウシカメムシ

**植物**：ネジバナ、セイヨウミヤコグサ、チガヤ、ヒメジョオン、イグサの仲間、カヤツリグサの仲間

**その他**：トノサマガエル、おたまじゃくし多数。オオシオカラトンボの交尾のあとの産卵が見られた！

## 6 月 13 日　豊中市公園みどり推進課維持管理係との懇話会　報告

島熊山の雑木林を守る会は、市と協力して公園等の管理運営を行う自主管理協定を結んでいます。当会は①原則として月 2 回以上の活動、②不具合個所を市へ報告、③除草、④竹林整備等を行い、市は樹木の管理や道具・資材の提供、ゴミの収集などを行い、私達の円滑な活動を支援するため交付金も支給しています。2004 年から進められたこの協定制度は、それまでの行政主導の公園管理から、地域住民の声が生かされる公園作りへの大きな転換点でした。

この日は当会の参加者 7 人、市から 1 人、自主管理協定の理念を最初に確認し懇話会をスタートしました。当会から出された主な質問・要望とそれに対する市の回答を簡単にまとめました。

(1) ミヤコグサの草原を奥まで刈ってほしい⇒分かりました。（奥まで刈られました。）
(2) グリーンヒル～豊寿荘にある枯れ松を危険なので切ってほしい⇒地図と写真を併せて出して欲しい。（市へ提出しました。切りますとのことです。）
(3) ナラ枯れによる伐採木の本数を知りたい⇒2022 年度は 3 本切り燻蒸も済ませた。
(4) 昆虫採集に対する市の考えは⇒基本的に観察してから自然に帰すという考えです。
(5) ミヤコグサの草原の立入禁止の看板を外してほしい⇒当該の林には倒木もあり、安全対策が取りにくい。一般の人が歩いて怪我をする場合も考えられるので当面立入禁止にしたい。

(5)については今後も話し合いを続ける必要がありそうです。（易　信子）

### 車に轢かれたアライグマを発見

7 月 21 日の朝、特養横の植え込みにアライグマの死骸があるのを散歩中の森山さんが見つけました。車とぶつかった形跡があり、道路を横断中に轢かれたのでしょうか。易さんが豊中市に連絡し、すぐに死骸を引き取ってもらうことが出来ました。

最近豊中市内でもアライグマが多く目撃されています。アライグマは特定外来生物として規制の対象となっているため、自宅や畑などに頻繁に現れる場合には、豊中市公園みどり推進課に問い合わせれば、檻を設置できる状況であれば調査後に捕獲器を設置してくれるとのことです。（なお、アライグマは特定外来生物ですが、鳥獣保護管理法下で保護される野生生物のうちの狩猟獣にあたり、許可なく捕獲することは禁止されています。）（高橋　由美子）

## 8～10 月の予定（集合、持ち物は原則毎月同じです）

**◎ 8 月は★森の手入れと☆清掃ハイク･モニ 1000 調査はお休みですが、**
**◇配水場･トンボ池調査は通常通り実施します。**

**◇配水場･トンボ池調査……8 月 23 日（水）14 時～15 時**
暑くてもガマ刈りは欠かせません　　緑丘配水場前集合　鎌、長靴

**★森の手入れ＋交流会……9 月 10 日（日）10 時～14 時**
観察路（基地から黒松林）の小木間伐・ササ刈り整備　　豊島高校正門前集合　山の道具
7 月に雨で中止した交流会を実施、飲み物、おにぎり、おやつ、おつまみを会で用意します。

**☆清掃ハイク･モニ 1000 調査……9 月 17 日（日）14 時～16 時**
秋の草木を楽しみながら　　豊島高校正門前集合　ヒバサミ

**◇配水場･トンボ池調査……9 月 27 日（水）14 時～15 時**
沢山のトンボを観察できる季節です　　緑丘配水場前集合　鎌、長靴

**★森の手入れ……10 月 8 日（日）10 時～12 時 30 分**
ササ刈りと雑木整備による観察路整備（観察会対応）　　豊島高校正門前集合　山の道具

**☆清掃ハイク･モニ 1000 調査……10 月 15 日（日）14 時～16 時**
スズメバチに気をつけて　　豊島高校正門前集合　ヒバサミ

**◇配水場･トンボ池調査……10 月 25 日（水）14 時～15 時**
トンボはこれで見納めかも　　緑丘配水場前集合　鎌、長靴

**■ナラ枯れ対策……10 月の毎週水曜日（8、9 月はお休み）10 時～12 時**
林床整理
☆天候などで休止の場合もあるので、参加される方は事前に土田泰子さんにお問い合わせください。

---

過去の島熊山通信の PDF や、詳細な活動記録をホームページ「島熊山の雑木林を守る会」でご覧いただけます。「島熊山　雑木林」で検索するか、下記の QR コードからアクセスしてください。

今号の編集担当　高橋由美子